

江別市出身
陸上十種競技

右代啓祐選手後援会会報

平成28年7月11日発行

第8号

右代啓祐選手後援会 〒069-0813 江別市野幌町9番地 江別市民体育館内
TEL 011-384-5001 FAX 011-385-7192

右代啓祐選手 リオ・オリンピック出場決定！！

日本陸連は6月27日にリオ・オリンピックの代表選手を発表し、怪我の影響が心配された右代啓祐選手は、ロンドン大会に続く2年連続で代表入りを果たしました。

—日本選抜和歌山大会で優勝—



右代選手は、「昨シーズンは、1年を通して課題の多い年だった」と言い、冬季はそれを克服するために、「海外でトレーニングに励んだほか、食事を変えて体を絞り、ピーク時に100kgあった体重を7～8kg落としてこの大会に準備した」と語っています。

その結果、日本選抜和歌山大会（4月30日・5月1日）では、リオ・オリンピック参加標準記録（8100点）を突破する8160点で、見事、優勝しました。

日本選手権（混合競技）長野大会

6月11日と12日には日本選手権（混成競技）が長野市で開催され、右代選手はこの大会で7連覇を目指していました。ところが、大会を目前にして、練習中に棒高跳びの棒が折れて、左手親指を骨折、左ひざを6針縫うというアクシデントが発生したことから、100m走のみの出場、それ以外の競技は棄権するという結果になりました。

後援会から町村副会長、中川幹事、支部幹事ほか計10名が、会場の長野市営陸上競技場へ応援に行きましたが、右代選手に直接会いお見舞いと激励の言葉を伝えました。

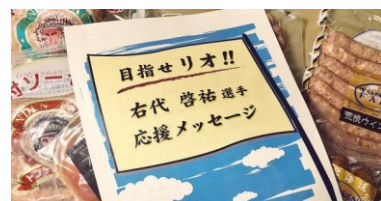
右代選手は、グラウンドに立ってマイクを持ち、「たくさんの方々が自分に時間を割いて、力を送ってくれたおかげで100mのスタートラインに立てた。やれることはすべてやった。とにかくできる力すべて振り絞って、1種目100mを走った。先週の土曜に棒高跳の練習でポールが折れて膝を6針縫い、左手親指を骨折。指は週明けに3時間の手術をしてボルト3本、プレートで固定。成功して今は動く。膝は一昨日まで走れず、今日は20秒かかるかと思ったが、8秒も速かった。

リオで戦いたいという気持ちでしっかり頑張ってきた。どんな状態でもやりきりたかったが、ドクターストップ。これまで1秒たりとも無駄にせず、これ以上練習しなくていいような状態だった。アクシデントを受け止めて、選考を待ちたい。やり残したことはない。右代啓祐として進化して、誰も塗り替えられないような大きな記録を更新したい。リオを懸けたこの大会はまだ続くので、皆さんの応援を。今後も十種競技、七種競技への応援をよろしくお願いします。」

右代選手が世界最高の舞台で大活躍するよう、みんなで応援しましょう。



後援会より、ソーセージやハムなどの特産品と会員からの応援メッセージを送りました。右代選手から「ありがとうございます！これを食べて納得できる結果を出してきます！」とお礼がありました。



◎リオデジャネイロオリンピック十種競技日程【日本時間】

1日目	8月17日（水） 21：30～	100m走、走り幅跳び、砲丸投げ
	8月18日（木） 5：45～	走り高跳び、400m走、
2日目	8月18日（木） 21：30～	110mハードル、円盤投げ、棒高跳び
	8月19日（金） 6：35～	やり投げ、1500m走